



やまぶき

大田市立大森小学校

学校だより No. 350

発行日 令和7年1月23日

文責 校長 橋井泰治



3 学期始業式 校長の話より

始業式で全校に次のような話をしました。

いよいよ3学期です。6年生にとっては、小学校最後の3ヶ月です。すてきな思い出をたくさん作ってください。1～5年生は、3ヶ月後に進級します。次の学年への準備をしっかりと進めましょう。

さて、今年の干支はヘビ(巳)です。「こわいな」と感じている人もいるかもしれません。ヘビは、成長するために古くなった皮を脱いで、新しい皮を身にまといまいます。難しい言葉で脱皮といいます。人間より大きな海外の大型ヘビも一緒です。種類によって違いますが、子どものヘビは月1回、大人でも年に3～6回脱皮をするそうです。新しい体にする事で、もっと健康に、もっと大きく、もっと強く成長していくのです。だから、ヘビは「再生(新しく生まれ変わること)」をイメージすることもあり、縁起がよいとされたり、神様として奉られたりすることもあります。ヘビの抜け殻を大切にされているお家もあるのではないのでしょうか。

これまでの苦手意識を捨て、新たな自分に生まれ変わる気持ちで挑戦し、成長していきましょう。大森小学校全員で最高の巳年にしましょう。



1/10 雪遊び

強い寒波で、大森町にも雪が積もりました。子どもたちは寒さに負けず、雪玉を投げあったり、元気にソリ遊びを楽しんだりしていました。今月末にはスキー教室も予定されています。しっかり冬を楽しんでいる子どもたちでした。



1/14 書初め鑑賞会

朝の学習時間を使って、全校で書初めを鑑賞しました。一人一人が心をこめて仕上げた作品です。高学年の作品を見ながら、「とてもきれいな字だな」とつぶやく子どももいました。



子どもたちの書初めを石見銀山大森郵便局内に今年も展示させていただいております。お時間がありましたら、どうぞご覧ください。

日	曜	2月の主な行事
7	金	一日入学
12	水	ミニ愛護少年団活動
15	土	公開授業・PTA総会
17	月	振替休業日
19	水	なかよし交流お別れ会(やまぶき学級)



1/16 なかよし集会（人権集会）

全校で呼び捨てやあだ名など、人の名前呼び方について考えました。始めに5・6年生による劇で、集会で考えたい内容を確認しました。その後いろいろな立場で考えるために、「呼び捨てをする人」「呼び捨てにされる人」「様子を見聞きしている人」の3種類の役割（ロールプレイ）をグループに分かれ体験しました。その後グループで話しあい、意見を全校で共有しました。



呼び捨てをする人:「悪気はない。」「あそびのつもり。」

呼び捨てにされる人:「何も思わない。」「少しいや、悲しい。」「何で呼び捨て?」「なんでぼくだけ?」

様子を見聞きしている人:「気にならない。」「何で呼び捨てにする人としらない人がいるの?」

「(親しい人なら)いい気持ち。」



心地よく感じる人がいる一方で、同じ呼び方でも嫌悪感や違和感をもつ人がいることに気づいたようです。

併せて、学校司書の蓑代先生による、絵本『ぼくのなまえ』の読み聞かせにより考えを深めました。相手がどのように受け止めているのか想いを馳せたり、嫌だという気持ちを伝えたりすることの大切さを学びました。自分自身も相手も尊重できる子どもに育てほしいと願っています。

【子どもたちの感想より】

- ・今まであだ名についてあまり考えたことがなかった。私は友だちをあだ名で言うことは少ないけれど、呼ぶ前には、相手が嫌じゃないか考えたい。
- ・私も嫌な名前と呼ばれていたことがあったので、集会で考えたことを意識して行動したい。
- ・今までいろいろな呼び方をしてきたけれど、嫌な人もいるとわかり、悩んだ。集会でみんなと話し合うことができてよかった。
- ・もし、自分が嫌と感じる呼び方をされたら、我慢せずに、「やめて。」と言いたい。
- ・もし他の人が呼び方で傷ついていて、言い出せなかったら、代わりに注意したい。
- ・呼び方で嫌な思いをすることを減らすために、あだ名や呼び捨ては基本的にしないほうがいいと思う。相手から「こう呼んで」と言われた時に、呼ぶようにしたらいい。その呼び方が嫌かどうか聞いたり、自分で嫌だと言ったりできるならいいと思うけれどなかなか難しいと思う。だから、丁度よいルールを見つけてみんなが気持ちよくすごせるようにしたい。

ご支援ありがとうございました。

◇国際ソロプチミスト大田 様
保健用品等(4年生女子へ)

◇大田地区更生保護女性会 様
図書カード
幸福のふくろう(4年生へ)

10歳(20歳の1/2)の贈り物として4年生に手渡していただきました。

